



静岡県農業教育テキスト 「しずおかの食と農を学ぶ」 ご紹介

令和6年7月

静岡県農業協同組合中央会（JA静岡中央会）

 静岡県のJA

はじめに（テキスト制作の背景）

○静岡県では、自然環境や立地を活かし、多彩で魅力的な農業が展開されています。

県内で農業が持続的に営まれることで、自然災害リスクの軽減、生物多様性の保全、景観の保全など、静岡県民の生活に大きく貢献しています。

○一方、県内・国内農業は、農業者の高齢者・減少、これに伴う耕地面積の減少等、農業生産基盤の脆弱化が進んでいます。

さらに、世界に目を転ずると、紛争などの国際情勢の不安定化、世界人口の増加に伴う食料需要の拡大などが進み、いざという時の食料確保が困難になる「食料安全保障」のリスクが増大している状況です。

これまで日本は食料の多くを輸入に依存して確保してきましたが、これからは国民が必要とし、消費する食料は、できるだけその国で生産する」という「国消国産（こくしょうこくさん）」に基づく食料確保が必要です。

○このような中、将来に日本の豊かな食と農業をつなげるためには、次世代を担う子供達に、静岡県農業、農業の意義についてしっかりと理解してもらう必要があります。

○そこで、県内の教職員で構成する「T O S S 静岡」の先生方と静岡県のJ Aグループが連携し、静岡県農業教育テキスト「しずおかの食と農を学ぶ」を作成しました。

ぜひ、学校の農業を学ぶ授業にご活用ください。

令和6年7月

J A 静岡中央会

テキストの特徴

コンパクトで使いやすいボリューム

- A5サイズ（A4二つ折り）全8ページ、両面、カラーで構成。
- 1時限（45分）を想定し、コンパクトで使いやすいボリューム。
- 静岡県の農業の概況や農業の意義について、必要十分な学習ができるよう、凝縮した内容。

カラフルで楽しく学べる内容

- 絵や図を多く用い、クイズ形式とすることで、問題を解きながら楽しく知識と理解を深めていける内容。

I C T 教育への対応

- 「静岡県のJ A」HPのPDFデータをダウンロードしてタブレットでの学習が可能
- 農林水産省、「静岡県のJ A」HPの関連ページへのQRコードを多数掲載して「もっと知りたい！」に対応。
- 学習の感想はQRコードから「静岡県のJ A」に送ることが可能。

各項目の学習内容

1. 静岡県の農畜産物（P2.3）

県内で生産される農畜産物の主な産地や農業産出額のトップ5を紹介するとともに、温暖な気候・豊富な水源等の理由から多くの品目が生産されていることを紹介。静岡県の農業の豊かさを学びます。

【学習する内容】

- 静岡県地図で、自分達が住んでいる市町を確認
- 静岡県の主な農畜産物を確認
- 恵まれた自然環境を活かし、多様な農畜産物が生産されていることを学ぶ

1 しずおかけん のうちくさんぶつ 静岡県の農畜産物

①自分が住んでいる市町を○で囲みましょう。
②静岡県内でとれる主な農畜産物です。□の中のうすい字をなぞりましょう。

問題 1
静岡県の農業産出額のトップ5には、何が入っていると
思えますか？下の中から、5つえらんで○で囲みましょう。
※農業産出額は、その県で生産された農畜産物を金額であらわしたものです。

茶	いちご	レタス	たまご
みかん	米	トマト	ナス

右のあてはまる項目に □ 予想が5つ全部当たった
✓をしよう □ 予想が3つ以上当たった
□ 予想が1つ以上当たった

これらの他、裏表紙（8ページ）にも静岡県でたくさん採れる農畜産物が書いてあります。

2. 農業の色々な役割 (P4.5)

農業が果たす様々な役割（洪水を防ぐ、土砂くずれや土の流出を防ぐ、きれいな地下水をつくる、生き物のすみかになる）を紹介。

輸入できない、お金だけでは得られない農業の価値について学びます。

【学習する内容】

○農業には、食料を生産するだけでなく、自然災害の防止や水資源の安定、生物多様性の保全など、さまざまな恵み（農業の多面的機能）があることを学ぶ

2 のうぎょう やくわり 農業のいろいろな役割

農業は、私たちが生きていくのに必要なお米や野菜などを作る役割を果たしています。しかし、それだけではありません。私たちの生活にいろいろな「めぐみ」をもたらしています。

問題 1 農業には、どんな役割がありますか。キーワードをなぞりましょう。

- 1 洪水を防ぐ。
- 2 土砂くずれや土の流出を防ぐ。
- 3 川の流れを安定させ、きれいな地下水をつくる。
- 4 多様で豊かな生き物のすみかになる。

問題 2 上の①～④に関わりのある風景に、○をつけよう。



ほかにいいことはあるのかな？

問題 3 身近に農業があると、どんないいことがあるだろう。イラストと文章を編んでみましょう。

● 洪水を防ぐ



● 田んぼや畑を耕すと、地下にゆっくり水がしみこむようになり、土砂くずれなどを防ぐことにつながります。

● 土砂くずれや土の流出を防ぐ



● 田んぼはまわりを「あぜ」で囲まれ、畑は土のすきまが多いです。そこに、水をためます。

● きれいな地下水をつくる



● 田んぼや畑が、まわりの川や水路とつながることで、いろいろな生き物が住めます。

● 生き物のすみかになっている



● 水が地下にしみこみ、土の中の微生物によってきれいになります。その水は、川にもどります。

3. 国消国産（こくしょうこくさん）って何？（P6.7）

日本の食料自給率を紹介し、将来に渡り、食べ物に困らないようにするにはどのような行動をとればよいのか考えます。

また、JAグループが提唱する「国消国産（こくしょうこくさん）」を通じ、日本の農業・食を守る事を考えます。

【学習する内容】

○食料自給率と、日本の食料の多くを外国からの輸入に頼っている現状を学ぶ。

○「国民が必要とし、消費する食料は、できるだけその国で生産する」という「国消国産（こくしょうこくさん）」を知り、自分達ができることを考える。

3 国消国産って何？

国内で食べられる食べ物のうち、国内で作られているものがどれくらいあるのかを百分率で表したものを、**食料自給率**といいます。

2023年現在、日本の食料自給率は38%です。

残りの62%の食べ物は、外国からの輸入にたよっています。

世界では今、人口がとも増えて食べ物が必要になっているんだよ。戦争や災害が起きて、外国からの食べ物も日本に届かなくなってしまうら困るね。

食べ物に困らないようにするには、わたしたちはどのような行動をとったらよいか考えましょう。

日本

38% 国内生産

62% 輸入

国民が必要とし、消費する食料は、できるだけその国で生産するという考え方を、**国消国産**といいます。国消国産の取り組みが広まると、食料自給率の問題だけでなく、未来の日本でも安心して食事ができることにつながります。

【出典】
農林水産省（農研機構）食料自給率ってなあに？
<https://youtu.be/McL9CBmXorU>

国消国産って、どんなことをすればいいのかな？

国消国産を高める取り組みは、具体的にどのようなものがあるでしょうか。一緒に考えてみましょう。

消費者の取り組み
生産者やJA等の取り組み

安全・安心な農産物を作る
産地の食料を買う
消費者のところに届ける
地元の産材を食べる

産地のIAってどんな取り組みをしているのかな？

産地の食と農のために様々な取り組みをしています。

地元の農産物ってどこで売っているのかな？

地域の農家の人たちが、直接持ちこんだ野菜などを売っている店のことを、**ファーマーズマーケット**といいます。

ファーマーズマーケットのキーワードをみましょう。

- 1 毎朝とれたてを届けるから、**新鮮**なものがそろっている。
- 2 作った人の名前や顔がわかるから、**安全・安心**。
- 3 珍しい野菜や果物がたくさんあり、**遊ぶ楽しさ**がある。
- 4 ジャムやつけ物など、**手作りの加工品**も多い。

近くのファーマーズマーケットをさがしてみよう！

4. まとめ

学習を振り返り、感想をまとめることで、農業への理解や共感をさらに深めます。

【学習する内容】

- 1時間学習した感想を自由記入によりまとめる。
- 「静岡県のJA」HP感想送付フォームにて送ることができます。

勉強した感想を書きましょう。

静岡県で採れる主要な農産物

静岡県の産出額が全国第1位から第5位の品目は次の通りです。

全国第1位	(令和4年)	
・茶	・わさび	・ガーベラ
全国第2位	みかん、チンゲンサイ、バラ、セルリー、観葉植物(鉢)	
(全国第3位)	無し	
全国第4位	メロン、レタス、しょうが、花木類	
全国第5位	いちご、切り枝	

静岡県のJA「公式情報」

静岡県のJAでは、静岡県の農産物の情報のほか、農業の魅力やイベント情報等を発信しています！

ホームページ Instagram

監修：TOSS静岡
作成：JA静岡中央会 NPO法人子ども未来